

2020年度第2回町田市子ども・子育て会議

議事要旨

【開催概要】

日 時：2020年11月19日（木）18：00～19：15

会 場：市庁舎 第1委員会室

【議事次第】

1 開 会

2 事務連絡

3 議 題

- ・「町田市子ども発達支援計画行動計画（2021～2023）（素案）」と意見
募集方法の確認について

4 報 告

- （1）保育所等施設整備に係る「2020年度整備予定」について
- （2）（仮称）小山田中学校区子どもクラブの整備について
- （3）新型コロナウイルス感染症の感染拡大による影響を受けている子育て世
帯への手当等について【追加】

5 その他

6 閉 会

【配布資料】

- 資料 1 町田市子ども発達支援計画行動計画 2021年度～2023年度（第二期障害児福祉計画）素案
- 資料 2 - 1 町田市子ども発達支援計画行動計画（2021年度～2023年度）策定に係る意見募集の実施について（案）
- 資料 2 - 2 ご意見記入用紙
- 資料 2 - 3 町田市子ども発達支援計画行動計画 2021年度～2023年度（第二期障害児福祉計画）概要版
- 資料 3 保育所等施設整備に係る「2020年度整備予定」について
- 資料 4 （仮称）小山田中学校区子どもクラブの整備について

2020年度第2回町田市子ども・子育て会議 委員出席者

子ども・子育て会議 委員

氏 名	所 属	出 欠
◎吉永 真理	昭和薬科大学	出
○鈴木 美枝子	玉川大学	出
小林 保子	鎌倉女子大学	出
駒津 彩果	東京三弁護士会多摩支部	出
矢口 政仁	町田市私立幼稚園協会	出
関野 鎮雄	町田市法人立保育園協会	出
馬場 昭乃	町田市社会福祉協議会	出
鶴田 尚子	社会福祉法人 福音会	出
吉田 孔一	町田市立小学校校長会	出
高橋 博幸	町田市立中学校校長会	出
森山 知也	東京都立町田の丘学園	出
赤木 律子	町田市民生委員児童委員協議会	出
宇賀神 直子	町田市立中学校 PTA 連合会	出
風張 眞由美	町田市医師会	出
澤井 宏行	町田商工会議所	出
金井 玲奈	市民	出
岸 洋一郎	市民	出
高倉 麻依子	市民	出
福田 麗	町田市青少年委員の会	出
酒井 恵子	町田市障がい児・者を守る会すみれ会	出

◎会長 ○副会長

・備考： 傍聴者（0名）

2020年度第2回町田市子ども・子育て会議 事務局出席者

氏 名	所 属
石坂 泰弘	子ども生活部部长
鈴木 亘	子ども生活部子ども総務課課長
早出 満明	子ども生活部児童青少年課課長
櫻井 敦	子ども生活部保育・幼稚園課課長
市川 裕之	子ども生活部子育て推進課課長
江藤 利克	子ども生活部子ども家庭支援センター長
石崎 進	子ども生活部子ども発達支援課課長
青木 範和	子ども生活部子ども発達支援課相談・療育担当課長
守屋 靖	子ども生活部大地沢青少年センター所長
中島 佳子	地域福祉部障がい福祉課課長
上田 直子	保健所保健予防課課長
小池 木綿子	学校教育部指導室長兼指導課課長

子ども総務課事務局：奥 雅文、吉田 織子

【議事内容】

1 開会

子ども総務課企画総務係長：皆さまこんばんは。本日は、お忙しい中、お集まりいただき、誠にありがとうございます。定刻となりましたので、ただいまから、2020年度第2回町田市子ども・子育て会議を開会いたします。

2 事務連絡

子ども総務課企画総務係長：本日は、委員全員の出席をいただいておりますので、会議は有効に成立しております。本日の会議の進行ですが、1時間程度を目安に進行していきたいと思っておりますので、ご協力の程よろしく願いいたします。

本日は、傍聴の方はいらっしゃらないので、議事に進みます。

■資料の確認

〔資料1～4の確認〕

子ども総務課企画総務係長：それではここからの進行につきましては、吉永会長にお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。

吉永会長：皆さんこんばんは。新型コロナウイルス感染症の状況が不安定な中、お集まりいただきありがとうございます。久しぶりに集まりますので、本来であれば皆様から一言ずつ近況などをお願いしたかったのですが、このような状況なので会議も短めの方が良いだろうと事務局と話をしました。ただ、せっかくですので、近況や共有したいことがあればぜひ教えていただきたいので、お二人に絞ってお願いしたいと思います。いかがでしょうか。

矢口委員：2つの立場からお話ししたいと思います。経営者としては、今は最悪の状況です。国からの補助金は、園の運営の最低部分のところだけです。預かり保育、実習生の受入れ、中学校の職場体験等の加算事業は全くできていない状況です。よって、そこにあたっていた職員の給料は法人の持ち出しとなっています。

職員としては、限界の状況です。市は保護者への自粛の要請を出しましたが、その間も保育を提供し続けていました。職員も輪番で休ませましたが、感染した場合には行動履歴を提出しなければならず、精神的に不安定な状態になっています。産業

医にも面談に来てもらいましたが、不安定な状態です。こういった機会をもとに、私たちの仕事がエッセンシャルワーカーであると認知してもらうことを望みます。

酒井委員：私は支援学級に子どもを通わせている保護者です。2学期になり学校が普通に始まりました。行事も短縮等がありますが行われ、一息ついているところです。すみれ会では、年2回子ども発達センターで行っていた保護者の方との懇談会や、自主的に行っていたおしゃべり会などが行えていません。親同士や経験者と話しあうことができず、悩みを聞いてもらう場所がないということ、メールをとおして感じています。

今の時期だと就学相談も控えています。支援が必要なお子さんの場合は、学校見学が必要ですが、この状況でなかなか見学が難しい中、決めなければいけない時期にきています。また、環境が変わって登校できていないお子さんもいると聞いています。保護者も先生も悩んでいると思いますが、どうにか来年の就学に向けて上手くつながっていくと良いなと思っています。

吉永会長：ありがとうございます。情報提供できることがあればぜひ皆さんお願いします。

このオンライン時代は、人とのつながりが難しいと言われていますが、同じ立場の人たちがつながって行ければ良いと思います。

3 議題

- ・「町田市子ども発達支援計画行動計画（2021～2023）（素案）」と意見募集方法の確認について

吉永会長：「町田市子ども発達支援計画行動計画（2021～2023）（素案）」と意見募集方法の確認について、事務局から説明をお願いします。

〔資料1・2の説明〕

吉永会長：ありがとうございます。ただいま事務局より説明がありました。ご質問やご意見がありましたらお願いします。

岸委員：記入用紙について、どの部分に対しての意見なのかが分かるように、ページを書く欄と意見を書く欄があるとより具体的に伝わるとは思いますが、いかがでしょうか。

子ども発達支援課長：ページを入れられるようにフォーマットを変えることは可能かと思いますが、部分的な意見のみでなく計画全体に対する意見もあるかと思っています。分かりやすくなるよう検討します。

宇賀神委員：メールもフォーマットがあると答えやすいのではないのでしょうか。また、ラジオボタンのようなもので回答できると、参加しやすいのではないかと思います。

子ども発達支援課長：確かに参加しやすいかとは思いますが、すぐに対応するのは難しいので、今回のメールでの回答は様式を使ってもらえればと思います。

馬場委員：学校の卒業時や入学時の縦のつながりについては記載があるが、小学校・町田の丘・学童・放課後等デイサービス等の横の連携という視点があるのか、業務レベルで考えられているのか教えていただきたい。

子ども発達支援課長：具体的な項目はないが、例えば放課後等デイサービスを使っているお子さんは、計画相談や障害児相談支援を利用していれば、子ども発達センターや事業者が横の連携を取ることはできると思うが、発達センターや相談支援を使っていないお子さんに関しては今後の課題と考えています。

金井委員：意見募集の話に戻りますが、小中学校の保護者への連絡もメールになっているので、Google フォームでアンケートをとるという形にすると情報が集めやすいと思いますが、小中学校の保護者あてのメールアドレスを使用することは難しいのでしょうか。

子ども発達支援課長：今回の意見募集で使用させていただくには、期間的にも難しいかと思えます。小中学校や保育園等に関してはQRコード入りのポスターを貼らせていただくので、読み込んでいただくと所定の場所に飛びますので、そこから様式などをダウンロードして回答していただければと考えています。

吉永会長：今回は時間がないとのことですが、小学校では全児童にパソコンが配布されたと聞きました。これからは意見募集などもそういった形に変えていけると良いかと思えます。

その他に思ったことですが、P 5 3 用語解説の部分に余裕があるので、P 3 3 「ペアレントメンター」の説明を入れると良いかと思えます。

子ども発達支援課長：分かりにくい言葉なので入れるようにします。その他も精査して、分かりにくい用語は入れるようにします。

森山委員：P 3 6 「特別支援教育コーディネーターの資質向上」の開催回数が、現状5回で、目標が4回になっていますが、新たな仕掛けや理由があれば教えてください。

指導室長：学校から出張する回数が多岐にわたって増えていることもあり、内容を減らすということではなく、内容を充実させることよっての回数の分散と捉えていただ

ければと思います。

関野委員：P 3 5 療育実地研修についてですが、指標が研修受講者数（満足度％）となっているのはどういうことでしょうか。

子ども発達支援課相談・療育担当課長：現状が実数で、目標が満足度になっていますので、表記を調整させていただきます。

小林委員：P 3 3 「ペアレントメンターの養成」ですが、これは毎年2名ずつ増やしていくということの良いのでしょうか。

子ども発達支援課相談・療育担当課長：毎年2名ずつ増やしていくということです。

宇賀神委員：P 2 7 「通常の学級及び特別支援学級における支援」について、目標は全校配置だと思いますが、配置される方は常にいて、支援はいつでも受けられるのでしょうか。

指導室長：こちらについては、会計年度任用職員を配置していきまして、毎日いるわけではございません。学校の要請に応じて、1 9 2 日/年と1 4 4 日/年の場合に分かれています。職員は公募した上で、教育センターで選考しております。

吉永会長：各学校に1 9 2 日派遣できるということでしょうか。

指導室長：はい。学校の状況に応じて1 9 2 日/年と1 4 4 日/年の配置があります。

赤木委員：P 3 6 「子育て支援ネットワーク会議」についてですが、現状が9 4 6 人で目標が7 7 0 人と下がっているのですが、どのような根拠で下がっているのでしょうか。

子ども家庭支援センター長：目標値は「新・町田市子どもマスタープラン（後期）」に掲載されている部分と整合性を持たせています。現状値については周知等によって市民の方の意識も高くなっていて想定より相談件数が増えてきているということが傾向としてあります。

関野委員：P 5 3 「子育てひろば事業Ⅲ型・Ⅳ型」がありますが、それぞれ実施している園数は分かりますか。

子育て推進課長：Ⅲ型が8園、Ⅳ型が3園となります。

関野委員：P 2 1 「地域参加支援事業」の回数が8回で、P 3 0 「子育てひろば巡回相談事業」は目標20回となっていますが、どちらも子ども発達支援課の職員が出向くという内容の事業だと思いますが、この差の理由は何でしょうか。

子ども発達支援課相談・療育担当課長：「地域参加支援事業」については保育士が、「子育て

てひろば巡回相談事業」では理学療法士・作業療法士・言語聴覚士が同行します。
回数については職員の体制によりますが、「子育てひろば巡回相談事業」については
5地域の相談センターに年4回派遣することを想定しています。

吉永会長：細かい点の確認ができたかと思いますが、その他気づいた点は11月30日ま
でに事務局にメールでお寄せください。

4 報告

吉永会長：報告をしていただき、全ての報告が終わった後、質疑を行いたいと思います。

〔事務局による、報告事項（1）～（3）の報告〕

吉永会長：今の報告についてご質問ある方お願いします。

矢口委員：資料3についてですが、南地域は待機児童が多い場所です。国は小規模保育事
業所を作るにあたり3歳以降の連携先は必須ではないとしていますが、今回連携先
はあるのでしょうか。

子育て推進課長：受け入れ先は確保できていると考えています。

5 その他

吉永会長：その他、何かございますか。なければ進行を事務局にお返しします。

6 閉会

子ども総務課企画総務係長：吉永会長、ありがとうございました。

次回の会議は、2021年2月18日（木）となります。場所は同じく、市庁舎3
階第1委員会室の予定です。新型コロナウイルス感染症の状況によっては、リモ
ートや書面での開催を検討したいと思います。以上をもちまして、2020年度第2
回 町田市子ども・子育て会議を閉会いたします。ありがとうございました。